

令和3年度 第6回高田区地域協議会 次 第

(会 議) 日時：令和3年10月18日(月)午後6時30分
会場：福祉交流プラザ 第1会議室

1 開会

2 議題等の確認

3 報告

(1) 第2回分科会の協議内容について

(2) 令和3年度地域活動支援事業の変更承認について

4 議題

(1) 令和3年度地域活動支援事業の活動報告会について

(2) 「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について

(3) 令和3年度地域協議会の活動計画について

5 事務連絡

6 閉会

【次回全体会 11月15日(月)午後6時30分～：福祉交流プラザ】

【次々回全体会 12月20日(月)午後6時30分～：福祉交流プラザ】

【次回分科会 11月1日(月)午後6時30分～：福祉交流プラザ】

【次々回分科会 12月6日(月)午後6時30分～：福祉交流プラザ】

令和3年度 第二回高田区地域協議会第1分科会の議事要旨

●開催日時 令和3年（2021年）10月4日 18時40分～20時00分

●参加メンバー（敬称略）

本城、浦壁、小川、高野、松倉、村田、冨田（文責）、欠席：宮崎、小嶋

●協議内容

（1）活動の経緯

・冨田より、第一回分科会（9月6日実施）以降の活動経過を説明し、第一分科会で取り上げるテーマとして『地域活動支援事業の活性化』を提案した。

更に、そのテーマのアクションプランについても説明した。

（2）意見交換のまとめ（●は意見、質問等、★は回答を示す。）

<その1>

●「地域の活動支援事業の活性化」という狭いテーマに限定したが、魅力あるまちづくり（自分の街に愛着を持つ）にするために何をしたらいいかを議論してはどうか。

★今回の最終的纏めは、提案事項ではなく、地域協議会が主体性を持って、行動し、更に地域住民が自ら行っていけるというものであることを考慮して提案した。

<その2>

●地域活動の活性化と「地域活動支援事業の活性化」がどのように関係するのか。

★『上越市地域協議会委員手引き』の10ページの9行目に、「多くの市民の皆さんが、この制度（地域活動支援事業）を活用することにより、自らの発意を行動に移していくことで、「市民まちづくり」が更に進展することが期待されている」と述べられている。

<その3>

●テーマを一つに絞ったが、まず市民が何を考え、希望しているのかを聞くのが先決ではないか。

★進め方としては、ご指摘の方が、理想である。しかしながら、活動がほぼ1年間と決められており、市民の方々からお聞きし、テーマを絞っていくにはかなりの時間が必要。提案だけならよいかもかもしれないが、今回は具体的な活動をするという前提がある。

『地域活動支援事業の活性化』はちょうどタイミングもよく、令和3年から4年にかけて具体的に活動していけるテーマと考える。

<その4>

●『地域活動支援事業の活性化』のアクションプランの中に、プロジェクトメンバーとの意見交換会があるが、その中に、是非、若手を入れた方がいい。

★まさにそのように考えている。

令和3年度（2021年度）の提案事例20件のプロジェクトすべてと意見交換会を持ちたいと思っている。その中には若者もいる。

<その5>

●第1分科会が進めていこうと考えているテーマは今後、どのようなハードルがあるのか。地域協議会としての了解を得る必要があるのか。

★まず分科会で、賛同を得て、全体会議に報告をし、了解を得なければならないと思う。

その後は自主的審議事項として提案して了承を得、具体的な活動に入っていく予定。

（3）今後の進め方

・10月18日（月）の全体会議にて進捗状況を報告。

・11月1日の分科会にて、最終的な合意を得る。

令和3年度第2回高田区地域協議会分科会 協議の要旨 記入用紙

(会 議) 日時：令和3年10月4日(月) 午後6時30分
会場：福祉交流プラザ 第1会議室、第6相談室

(記入委員名) 飯塚よし子

第2分科会「高田区における災害(大雪、水害、地震)時の対応について」 協議内容(箇条書き等でまとめてください)

10月4日(月)の分科会において協議した結果

1、確認事項

今冬の大雪被害が非常に大きかったため、この分科会で協議する内容は、今期の委員の任期(2024年4月まで)を考慮して、検討順を「大雪」⇒「水害」⇒「地震」とする。

2、協議結果

- ・「今冬のような状況にならないために、どうすべきか」を分科会で議論するために、市、町内会、住民などから話を聞いてはどうか。
- ・そこでまず、11月15日(月)の第7回地域協議会で、市が作成する「令和3年大雪災害対応の検証について」の説明を聞く機会を設けてはどうか。
- ・その時の質問内容については、10月18日(月)の第6回地域協議会において、本日の協議結果の報告の際、全委員に投げかけ、10月25日(月)までに文書で質問事項を出してもらおうようにしてはどうか。
- ・その質問事項と第2分科会の委員から出された意見を11月1日(月)の分科会で協議し、取りまとめてはどうか。
- ・質問事項の視点としては、
 - ①市の「令和3年大雪災害対応の検証について」(中間報告)を読んだので、「疑問点、不明点(これはどういうことか)」など
 - ②今冬の大雪を経験して思うことの2点で意見をとりまとめてはどうか。
- ・また、市の「令和3年大雪災害対応の検証について」(中間報告)作成の際、町内会から聴取したアンケート結果(高田区分)を資料として地域協議会に提供してもらえないか事務局を通じて打診する。

令和3年度地域活動支援事業の変更承認について

事業名	地域資源を活かした高田まちづくり事業	
提案団体名	特定非営利活動法人 街なみFocus	
交付決定日	令和3年7月14日	
変更承認申請日	令和3年9月21日	
変更理由	新型コロナウイルス感染防止のため。	
変更内容	当初提案のあった事業のうち、朝市の活性化事業及び歴史・景観フォーラムを中止する。	
地域活動支援事業費補助金	(変更前) 532,000円	(変更後) 524,000円
変更承認決定日	令和3年9月28日	

令和3年度地域活動支援事業の活動報告会について（案）

1. 日時

令和4年2月26日（土）午後2時～午後5時15分

2. 会場

福祉交流プラザ 2階 第1会議室

3. 内容

- ・毎年度末に実施している高田区地域協議会活動報告会と同日に行う。
- ・令和3年度の採択団体から、今年度の活動内容等を1団体あたり5分程度で発表してもらう。その後に質疑等を5分程度行う。
- ・活動内容の発表は、スクリーンに活動写真を投影しながら行う。
- ・次第

1 開会	14:00～14:05
2 令和3年度高田区地域協議会の活動報告	14:05～14:30
3 令和4年度地域活動支援事業の概要説明（実施の場合）	14:30～14:50 (この後5分休憩)
4 令和3年度地域活動支援事業の活動発表（13団体）	14:55～17:10 (途中5分休憩)
5 閉会	17:10～17:15

4. 周知

- ・高田区地域協議会だより（1月25日発行）や過年度に地域活動支援事業を提案した団体への通知等により周知する。

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（抜粋）

地域協議会における取組【検討シート】

ア 意見交換について

アー１ 主な回答

- ・協議会が地域課題の解消に向けて取り組むためには、地域の団体等との意見交換や情報共有が必要
- ・課題に気付き、自分たちで解決していかねばならないという思いを住民と協議会委員の両方が共有しながら議論を進めることが必要
- ・日頃から協議会と諸団体の間の風通しをよくしておくことが必要

アー２ 各地域協議会における今後の取組（案）

地域課題の把握・解消に向けた、住民組織、福祉・スポーツ団体、町内会、地域住民、他の地域協議会等との話合いの一層の活性化
[下線部は市議会提案を反映]

【過去の取組】

○前期まで（～令和元年度）

- 平成 24 年 10 月 : 高田区全町内会長との意見交換会
- 平成 25 年 10 月 : 第 1 回懇談会（寺町二丁目、三丁目参加）
- 平成 26 年 3 月 : 第 2 回懇談会（南本町、南城町など 15 町内参加）
- 平成 26 年 9 月 : 第 3 回懇談会（本町、大町など 12 町内参加）
- 平成 27 年 3 月 : 第 4 回懇談会（西城町など 17 町内参加）
- 平成 27 年 7 月 : 第 5 回懇談会（本町など 13 町内参加）
- 平成 31 年 1 月 : 自主的審議事項「買い物弱者の発生・増加と中心市街地の衰退について」に関連して民生委員、ケアマネジャー、店舗経営等関係者と意見交換

○今期（令和 2 年度～）

- 令和 2 年 10 月 : 高田地区町内会長協議会三役と高田区地域協議会正副会長との意見交換

【今後の取組（方針案）】

- 地域住民等との意見交換について
（意見交換の実施に関するご意見）

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（抜粋）

地域協議会における取組【検討シート】

イ 会議運営について

イー１ 主な回答

- ・会議の開催日時が不定期で、予定が立てにくかった。
- ・月１回の会議だけでは取り組むテーマの解消ができない。
- ・毎回１時間程度の協議時間が設定されているが、議論の内容を深めるゆとりがなく時間切れになる。
- ・学習会や先進的地域への研修視察を重視すること。
- ・委員の責務として、全ての議題に対して各委員から必ず発言していただくような会議運営にしてほしい。
- ・協議会に参加してもなかなか発言できなかった。

イー２ 各地域協議会における今後の取組（案）

- ・委員が会議に参加しやすくなるような、開催日時や回数の柔軟な設定
- ・必要に応じて日を改めて協議を行うなど、議論が深まるような運用
- ・自主的審議事項等の議論がより一層深まるよう、議論に必要な情報を得るための視察や研修の積極的な実施
- ・会議の進行を担う会長が全ての委員へ発言を求めるなど、多くの委員に発言の機会を設けるような配慮
- ・分科会やグループワーク等、小規模な話合いの場を適宜設けるなど、委員が発言しやすい雰囲気づくり

【過去の取組】

○前期まで（～令和元年度）

- 平成 23 年 12 月 : 「平行在来線とまちづくり」をテーマに新潟県平行在来線(株)社長より講演（三郷区地域協議会と合同で実施）
- 平成 25 年 10 月 : 「地域自治区と地域協議会」をテーマに福島大学人間発達文化学類教授（市地域協議会検証会議委員）より講演
- 平成 26 年 10 月 : 「人口と世帯数の統計データ」を市創造行政研究所より説明
- 平成 27 年 8 月 : 「高田駅周辺の活性化」をテーマに高田駅グランドデザイン研究会より説明
- 平成 29 年 10 月 : 自主的審議事項「高田公園周辺の雨水排水対策について」に関連して高田公園お堀、水戸の川排水機場を視察

○今期（令和２年度～）

- 令和 2 年 8 月 : 「地域自治区、地域協議会の制度と役割」について市自治・地域振興課より説明
- 令和 2 年 11 月 : 自主的審議事項「稲田橋付近の河川敷の土砂の撤去について」「高田区における内水ハザードマップ作成及び住民への周知について」に関連して稲田橋付近の河川敷、水戸の川排水機場等を視察

次頁につづく

【今後の取組（方針案）】

○会議開催日、開催時間、回数、会議の運営方法等について
（現在の開催方法に対する改善点等に関する意見）

○視察や研修の積極的な実施について
（視察や研修の実施に関するご意見）

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（抜粋）

地域協議会における取組【検討シート】

ウ 情報発信について

ウー１ 主な回答

- ・地域住民等から協議会の活動に関心を持ってもらうために「地域協議会だより」を工夫し委員の声などを載せ、より親しみのある内容にしていく。
- ・各地域の取り組み等を定期的に「地域協議会だより」として回覧板でも良いので多数発行し、活動内容を理解してもらう。

ウー２ 各地域協議会における今後の取組（案）

協議会の活動に市民から関心を寄せていただけるように、地域協議会だよりに委員の声や自主的審議の進捗状況等を掲載するなどの工夫

【過去の取組】

- 前期まで（～令和元年度）
 - ・年４回発行（全戸配布）
- 今期（令和２年度～）
 - ・年４回発行（班回覧）

【今後の取組（方針案）】

- 発行回数、配布方法について
（現行の発行方法に関するご意見）

- 掲載内容について
（現行の掲載内容に関するご意見）